

革新的研究調査(F S)評価結果(平成20年度採択)

番号	研究課題名	研究代表者	評価
20-4	レーザー波干渉を利用した亀裂性岩塊の遠隔からの安全な安定性調査法の確立	岐阜大学工学部 教授 八嶋 厚	B
<p>&lt; 研究の概要 &gt;</p> <p>亀裂性岩盤斜面の安定度評価法として、遠隔から非接触で安全に調査できるレーザー波の干渉を利用する方法を提案するとともに、模型実験等を通して、提案手法の実務への適用性を確立する。</p> <p>本格的な研究に先立ち、亀裂性岩塊による災害発生危険度の現状把握、既存の安定性調査法との比較による提案手法の優位性調査、提案手法の現場計測への適用性検証のための計測実験などを行い、提案手法の実行可能性について検討する。</p> <p>&lt; 研究継続の妥当性評価 &gt;</p> <p>いくつか課題はみられるものの、研究成果がある程度期待でき、計測マニュアルや安定性評価マニュアルを整備するという研究計画も概ね妥当であることから、本評価における指摘事項を踏まえて研究計画を修正することを前提に、新規課題として採択するものとする。</p> <p>&lt; 特記事項(今後の研究に対する意見・指摘事項等) &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定性判定の原理、信頼性、精度を保証する方法を検討する必要がある。</li> <li>・ 基岩と計測対象点の相対変化を所定の精度で計測できるように、補正用センサの取付方法と補正方法の精緻化を図る必要がある。</li> <li>・ 実現場への適用性については、具体的な現場の実態を踏まえた実証的な評価を行い、適用岩塊などの条件を明確にするなど、実運用上の適用条件を明らかに示していただきたい。</li> <li>・ レーザー波干渉計を計測対象と基岩の双方の変位計測に使用する方法も、精度と費用の両面で検討していただきたい。</li> </ul>			